

農業データ連携基盤の構築について

【ダイジェスト版】

「農業データ連携基盤」(WAGRI)

- ※ **WAGRI**とは、農業データプラットフォームが、様々なデータやサービスを連環させる「輪」となり、様々なコミュニティのさらなる調和を促す「和」となることで、農業分野にイノベーションを引き起こすことへの期待から生まれた造語 (WA + AGRI)



平成30年7月
農林水産省技術政策室

目次

農業現場におけるデータ活用の現状と課題

- 農業現場におけるデータ活用の必要性 1
- 農業現場におけるデータ活用の現状 2

農業データ連携基盤とは何か？

- 農業データ連携基盤の3つの機能 3
- 農業データ連携基盤の役割と効果 4

農業データ連携基盤によって何が変わるのか？

- 農業データ連携基盤によって可能になること 5
- 農業データ連携基盤により変わる農業 6
- 【参考】現在実施中の実証プロジェクト 8

**生産性の飛躍的向上、
高品質な農産物の安定生産**
などを実現するためには……

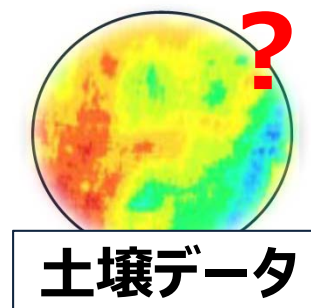


様々なデータをフル活用
することが不可欠

農業現場におけるデータ活用の現状

しかしながら、現状では・・・

データはたくさんあるのに、十分に活用できていない。



農業データ連携基盤の3つの機能

データを集約し、
データの連携・共有を可能とする
農業データ連携基盤（WAGRI） を構築。

データを集約



データを連携



データを共有



農業データ連携基盤の役割と効果



農業データ連携基盤 (WAGRI) は・・・

- データを保有する企業等と、データを利用して農業者にサービスを提供する企業等の、**企業等の間を橋渡し**する役割を担う。
- 多くの企業等が活用することで、**サービスの充実**や**農業関連サービスの創出**を促す。

農業者が、**自分の望むサービスを選択・活用**できるようになる。

農業データ連携基盤によって 何が変わるのか？

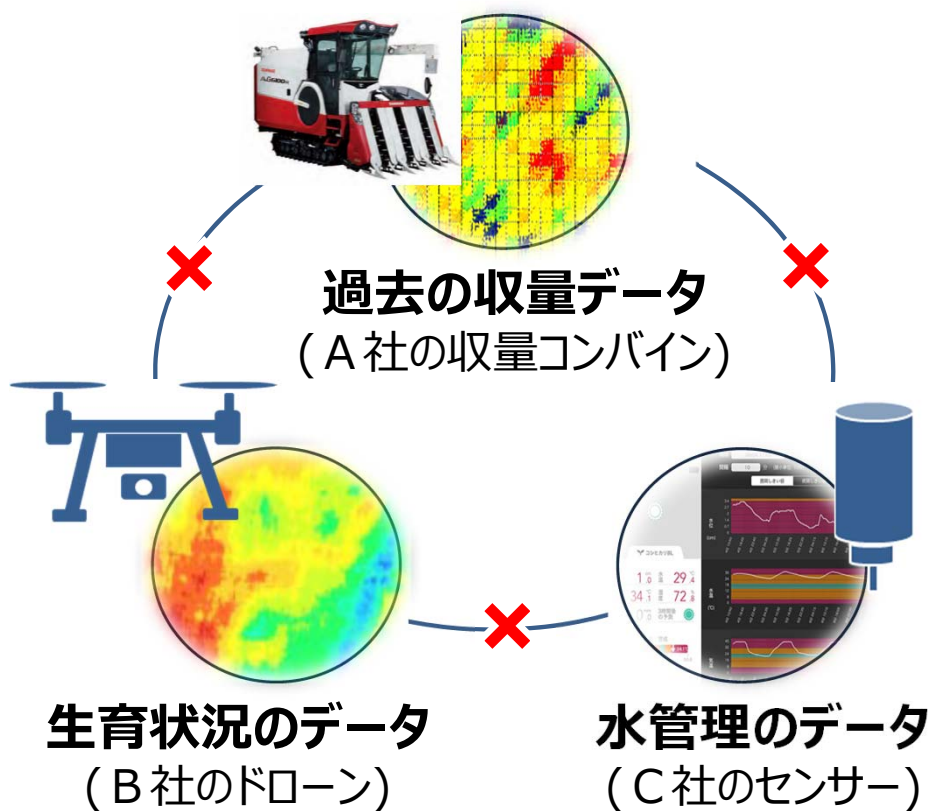
⇒ どの企業の農機、センサー等のデータであっても、自由に比較・統合できるようになる。

⇒ 農業者の間で自由に情報のやり取りができるようになる。

農業データ連携基盤により変わる農業 ①

今までは・・・

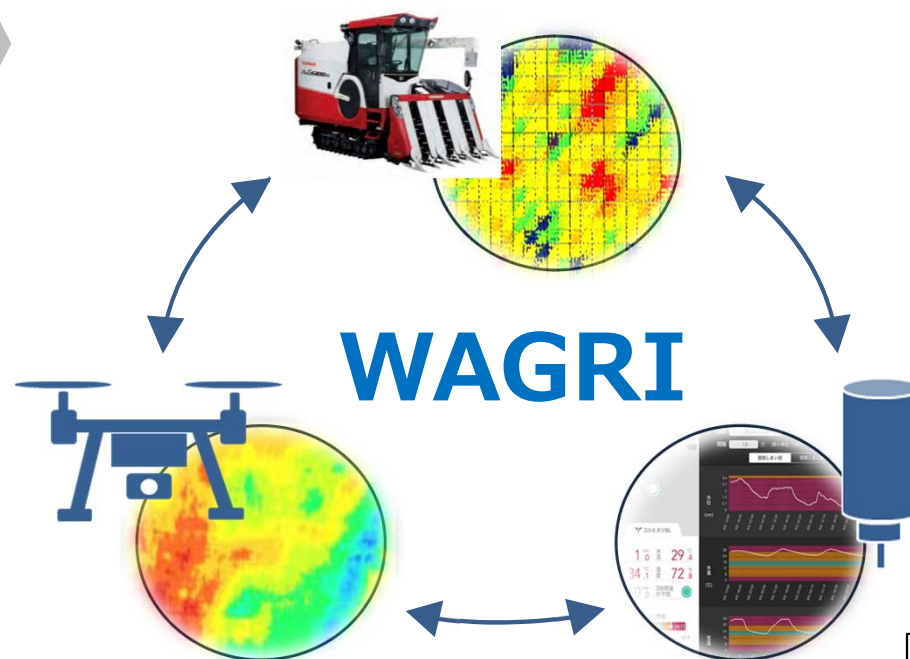
水稻の生育状況を揃えるために様々なデータを統合して解析したくても、**農機やセンサーの企業が異なるとデータを比較できない。**



農業データ連携基盤の効果

昨年の収量データと栽培管理データを統合・解析しながら水管理や追肥を実施。

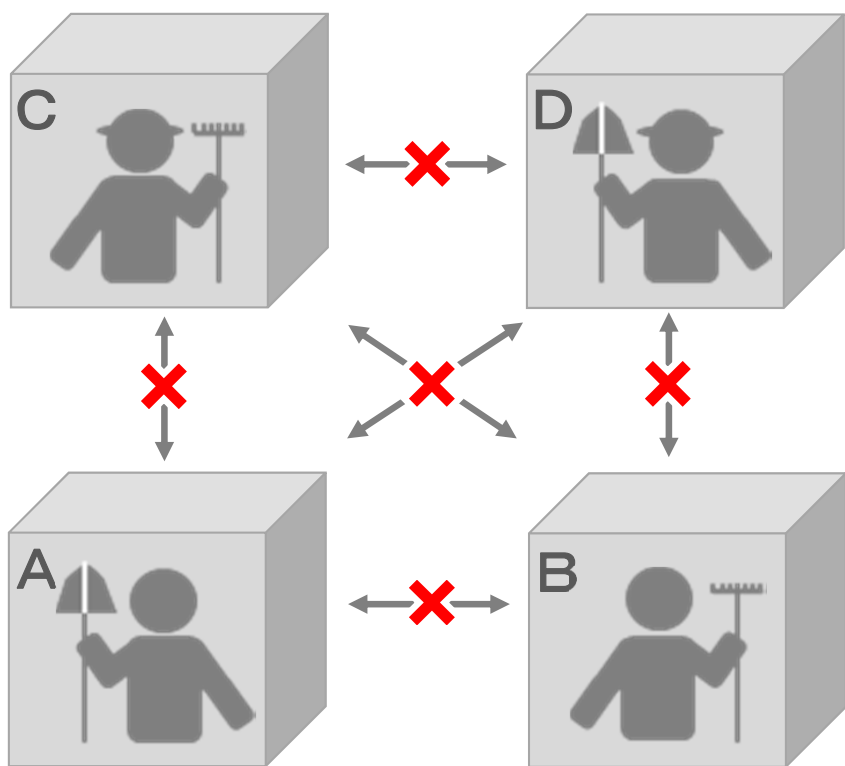
- ⇒ **品質の向上、均質化**
- ⇒ **資材コストの削減**



農業データ連携基盤により変わる農業 ②

今までは・・・

地域の部会内で情報共有したくても、
全員が同じシステムを使っていないと
データの共有・比較が難しい。



農業データ連携基盤の効果

使用するシステムに関係なく、自由
にデータを共有・比較しながら栽培
技術について検討。

⇒ 産地全体のレベルアップ

⇒ 新技術の円滑な習得

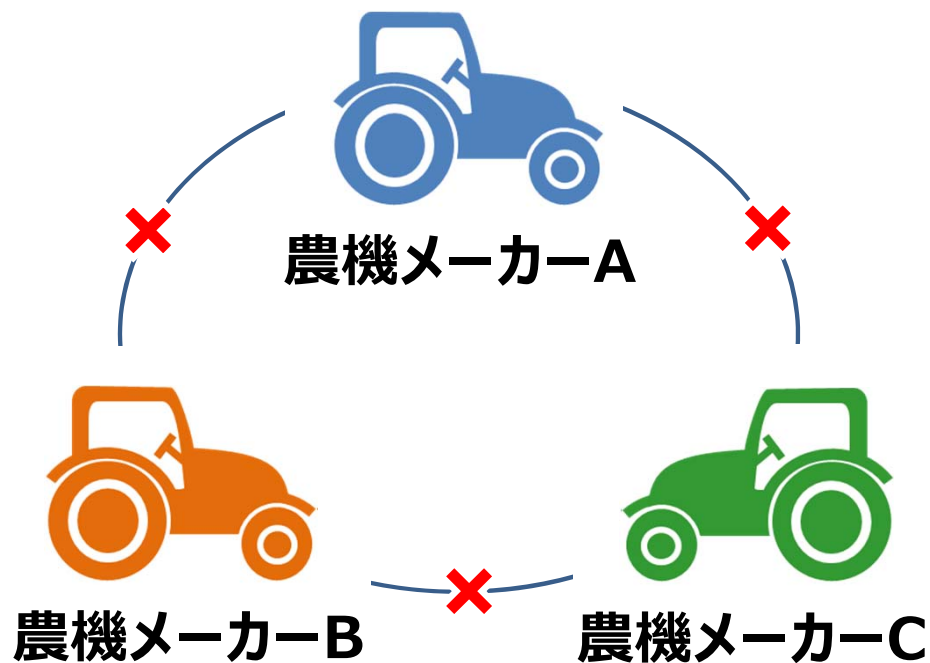


※ 各種データの提供・共有・活用にあたっては、
関係者間でのルールに基づく合意形成が前提

【参考】現在実施中の実証プロジェクト

今までは・・・

複数のトラクターを効率的に利用したくても、メーカーが異なると、どの農機がどこで何の作業しているのか一元的に把握できない。



農業データ連携基盤の効果

異なる農機メーカーのトラクターの作業データを一元的に把握しながら作業を実施。

- ⇒ 農機の効率的利用
- ⇒ 作業時間の短縮

